

参加を!!!

現代と大逆事件

天皇制と

死刑制度を問う

全ての皆さん!!

既に資本主義国家の大半は、非人道的きわまりない死刑制度を廃止しているにもかかわらず日本では今だに存続し、監獄に鉄鎖で繋がれ死を強制されている死刑確定囚が17人（あるいは18人）います。

★相次ぐ死刑求刑―判決を許すな!

検察庁は昨年より、一連の「政治犯」「刑治犯」に対して死刑求刑をあげ、裁判所は、東アジア反日武装戦線の大道寺将司、片岡利明両氏、そして永山則夫氏に死刑判決を攻撃してきました。

最近、先田事件、財田川事件、松山事件と相次いで死刑囚に対する再審決定がなされ、今新ためてえん罪事件を生む裁判のあり方、そして死刑制度が厳しく問われています。

★死刑制度を廃止しよう!

死刑制度は、政府―支配階級による「政治犯」「刑治犯」の区別なく、人民に対する処刑制度であり、人民を支配するためのきわだった武器であると共に、とりかえしのつかない残虐な刑罰です。

現在、死刑制度の廃止を要求する声は各界に高まり、全ての良心ある人々の意志となり歴史の大勢となっています。スペインでは昨年暮れ国民投票で死刑廃止が決定され、フランス下院でも死刑の漸減と一時停止案が討論されています。アムネスティー・インターも絶対無条件での死刑反対を掲げ、一九八〇年を死刑廃止キャンペーンの年として動きだしています。

★大逆事件の復活に反対しよう!

かつての天皇制権力は70年前の1月24日、「明治天皇暗殺計画」なるものをデッチあげ幸徳秋水ら12名の「主義者」を横槍台に送ることによって、

「冬の時代」、人民運動の圧殺に成功しました。

今、私達は、元号法制化、有事立法、刑法改悪……等、又聞こえてくる軍靴のひびきの中で、現代における大逆事件の復活に反対し、死刑制度廃止に向けた第一歩を多くの皆さんと踏みだすためにも2・17集会への参加を心から訴えます。

日時 二月十七日(日) 午後1時～5時

場所 部落解放センター

(環状線「芦原橋」下車)

演題者

桑原重夫氏 市原みちえ氏

向井孝氏 近藤良孝氏

川久保公夫氏

他交渉中

報告者

・東アジア反日武装戦線を救援する会

・「連続射殺魔」永山則夫の反省Ⅱ共立運動

・塩見孝也氏への無期求刑に反対し即時保釈をかちとる会

主催者

現代と大逆事件

「天皇制と死刑制度を問う」2・17集会実行委

・死刑はいやや!いのちと人権を守る市民の会

・獄中の処遇改善を闘う共同訴訟人の会

・釜ヶ崎働く仲間の会

・反天皇制行動委員会

・矢島一夫と共に闘う会

・三支闘

・東アジア反日武装戦線を救援する会

・塩見孝也氏への無期求刑に反対し即時保釈をかちとる会
・個人有志

(連絡先)

大阪市北区浪速町十一の十一

関西救援連絡センター 気付

(647) 4089